



お知らせ

NPO「森と水辺を育てる会」から送られた門松 静岡総合庁舎でお出迎え

静岡土木事務所企画検査課

県との協働により、土砂災害を防ぐ里山づくりの活動をしている特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』が、都市山麓グリーンベルト（注1）整備区域内の静岡市清水区大内モデル地区で伐採した竹を利用して伝統的な門松を製作し、静岡土木事務所に届けていただいたので、静岡総合庁舎の正面玄関に飾りました。

おかげさまで、今年も歳神様を総合庁舎に迎えられそうです。

（注1）都市山麓グリーンベルト

静岡市内で、366箇所の土砂災害危険箇所が集中する賤機山から興津川までの12kmに及ぶ市街地北側山麓域を「都市山麓グリーンベルト区域」として、平成13年度から樹林帯の形成を図る整備に着手しています。

このうち、竹林の拡大が著しい清水区大内地区86haをモデル地区に選定し、斜面の安定を高めることによる土砂災害の抑止、自然環境の保全、山麓斜面への無秩序な市街化防止、都市景観の保全・創出等を目指し、静岡県と締結した協定により、特定非営利活動法人『森と水辺を育てる会』が里山づくりの活動を行っています。

〔問合せ先〕 静岡土木事務所企画検査課

〔電話番号〕 054-286-9321

